

経営理念 | ふるさと沖縄とともに りゅうぎんのビジョン

親しまれ、信頼される 地域の銀行を目指して

経営理念

りゅうぎんは、これまで「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を経営理念として経営活動を展開してきました。今後ともこの経営理念を実践していくために、りゅうぎんとりゅうぎんグループ各社はサービスの充実に努め、同時にいかなる経営環境の変化にも対応できるように健全経営の確立を図り、地域の皆さまのニーズに対応していきます。

りゅうぎんのシンボルマーク



琉球銀行の頭文字Rをデザイン化したもので、楕円そのものを地域社会と考え、Rで区切った三つのブロックは「地元で暮らす人々」「地元企業」「琉球銀行」です。この三者がお互いに手を取り合って、温かく潤いのある地域社会を創りあげていきたいという私共の心をシンボル化したものです。

Speed 2001 | りゅうぎんが勝ち残るための施策 中期経営計画

スピード時代への 対応を強化

Speed 2001とは？

りゅうぎんが勝ち残るための施策をこの2年間（平成13年4月～平成15年3月）に一挙に実行していくための中期経営計画です。通常、中期経営計画は3年～5年で設定されますが、スピードの時代に対応し、Speed 2001は2年計画となっています。

りゅうぎんの進むべき方向性

「まかせてバンク」

中期経営計画では、りゅうぎんの目指すべき将来像として「まかせてバンク」を提唱しています。

「まかせてバンク」とは、文字どおり、お客さまのすべてをおまかせいただきたいとの意味です。

今後、りゅうぎんは「必要なときにはいつもそばにりゅうぎんがある」という新金融サービス業を提唱し「かゆいところに手が届く」サービスの提供を目指していきます。

中期経営計画が目指すもの

中期経営計画のメインテーマは、「安定した収益基盤の確立」です。公的資金の早期返済のための目処づけをするとともに、「融資業務」を中心とする銀行の本業部門を充実させていきます。そのことによって、「融資業務」を今後のりゅうぎんの得意分野として確立させ、ストレートに「ローンならりゅうぎん」というブランドイメージを前面に押し出していきます。

経営目標	安定した収益基盤の確立
キーワード	経営資源投入分野の選択と集中 業務プロセスの大胆な再構築
ブランドイメージ	ローンならりゅうぎん

Speed 2001の全体像

営業体制の転換をいかに実現するか

